

2022年7月7日

株式会社博報堂DYホールディングス

**博報堂DYホールディングス、ESG投資指標「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に4年連続で選定
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも初選定**

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下 博報堂DYホールディングス）は、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関するマネジメントや取組み等について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に4年連続で選定されました。また、今回初めて「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されましたので、お知らせいたします。

ESGへの取組み姿勢は経営の安定性や成長可能性についての重要な判断基準とされており、「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、日本の公的年金事業を運営する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）もESG投資の判断基準の一つとして採用するなど、企業のESGへの取り組みに注目する世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

博報堂DYホールディングスは、サステナビリティゴールである「生活者一人ひとりが、自分らしく、いきいきと生きていける社会の実現」を目指すことを掲げ、ESGへの取組みを推進しています。気候変動対策や健康経営、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標 以下SDGs）関連をはじめとした取組みが評価され、構成銘柄に選定されました。

博報堂DYホールディングスは、中期経営計画^{※1}において取り組むべき重要なテーマの1つとして、「サステナブルな企業経営のための基盤強化」を位置付けており、今後もグループを挙げてサステナブルな経営環境を整備してまいります。

※1 博報堂DYホールディングスの中期経営計画はこちら。

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/group/businessplan.html>

■サステナビリティへの取り組み

博報堂DYホールディングスでは、2022年にサステナビリティ推進室を設置し、サステナビリティやESGに関連する情報の開示拡充、継続的な取組みを強化しています。

気候変動への取組みとしては、博報堂DYホールディングスとして、2022年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース」の提言に則した目標設定および情報開示を実施しました。また、同提言への賛同表明以降、気候変動に対する取組みを強化していくなかで、新たに温室効果ガスの総排出量を指標とした削減目標を設定いたしました。

具体的には、2030年度のCO2排出量を2019年度比50%削減とし、さらに2050年度のカーボンニュートラルを目標といたしました。この削減目標の達成に向けて、オフィスでの再生可能エネルギーの導入など、さらなる環境負荷低減のための適切なアクションに取り組み、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

■ 「FTSE4Good Index Series」 「FTSE Blossom Japan Index」 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」
について

ロンドン証券取引所グループ傘下の FTSE Russell 社が作成した、ESG に主眼を置いた指数。

「FTSE4Good Index Series」：

環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

「FTSE Blossom Japan Index」：

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を含む ESG の対応に優れた日本企業を一定の評価基準に基づいて選定しているものです。

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」：

各セクターにおいて相対的に、ESG について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI^{※2}経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

※2 TPI：Transition Pathway Initiative の略。企業の温室効果ガス排出量管理および、低炭素経済への移行に関連するリスクと機会への対応の質を評価したスコア。

<https://www.ftserussell.com/ja/index>

■ 博報堂 D Y ホールディングスのサステナビリティに関する取り組みはこちら。

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR室 戸田・成田

TEL:03-6441-9062 e-mail:koho.mail@hakuhodo.co.jp